

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



2015/06/05

食農で教育再生

第一回新米収穫祭
 食育料理教室を開催
 毎年の時期保育園の長年恒例で対象に行なわれ園児達はたのしみです。
 食育教育の一環としてお米を育てるところからたべるところまで子供達への体験をさせると毎年開催しております。



2015/11/20

マコモタケとれんさんのきんぐら

食育・食農教育が家庭におけるおひろりの時から始まり学校における給食と生涯消費を経て地域における雇用の問題にまで踏み込んだことにはじめて、その世界の全体像を理解することができると。

今、食育教育が重視され注目されなければならぬ背景には、私たちが生きている社会のあり方が大きく影響している。その典型として、グローバルセッションと呼ばれる地球を一つの市場としてとらえる世界の大半は注目を集めることになっている。



2015/11/20

▲「いただきます。鶏もも肉照り焼き盛りつけがまだきていません。」

▼ マコモタケの斜め薄切り

平成27年11月20日(金) 午前10時より13時30分迄
 尾張旭市学校給食センターで開催。

▲ 学校給食センターで作っているところを園児が見学。



2015/11/20

▼ 紙芝居 食育紙芝居 (たばこのたけ)



2015/11/20



2015/11/20